1回の採血で、複数のがんのリスクを評価!

アミノインデックス®がんリスクスクリーニング(AICS®)

NEW
膵臓(すいぞう)がんが加わりました!

AICS®(エーアイシーエス)とは?

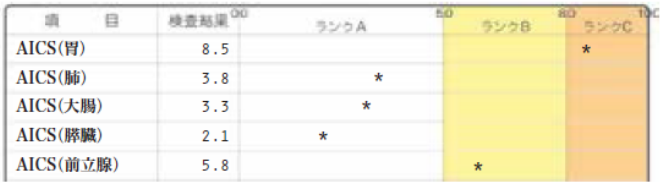
AICS®とは血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、現在がんであるリスク(可能性)を評価する検査です。

検査の対象となるがんの種類

男性AICS(5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん
女性AICS(6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん*

*子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。いずれかのがんであるリスクについて評価することができますが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません。

検査の結果について



項目	検査結果
AICS(胃)	8.5
AICS(肺)	3.8
AICS(大腸)	3.3
AICS(膵臓)	2.1
AICS(前立腺)	5.8

AICS®は、それぞれのがんについて、現在がんである確率を0.0〜10.0の数値(AICS値)で報告します。リスクの傾向は数値が高いほど、がんである確率が高くなります。

また、このAICS値からリスクを判断する目安として、「ランクA」「ランクB」「ランクC」に分類され、がんであるリスクの傾向が3段階で示されます。

リスクとは、確率、可能性、危険性などと呼ばれているもので、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0〜4.9	5.0〜7.9	8.0〜10.0

低い ← がんであるリスク → 高い

検査の対象者について

AICS®は、下記年齢の日本人(妊娠されている方を除く)を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS値は評価対象外となります。

対象となるがん	対象年齢
胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳〜90歳
前立腺がん	40歳〜90歳
子宮がん・卵巣がん	20歳〜80歳

AICS®の結果に影響を与える可能性がある病気について

現在下記の病気にかかっている方は、AICS値に影響を与える可能性がありますが、検査の対象外とするものではありません。

AICS®を受診することによって、がんを発見できる機会となると同時に、下記の病気による影響で、がんではないのにAICS値が高くなりうることをご理解いただいた上で、ご受診ください。

現在までに各種AICS®の結果に影響を与える可能性が分かっている病気

- AICS(肺):慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺気腫、無気肺
- AICS(前立腺):前立腺肥大、糖尿病
- AICS(子宮・卵巣):子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍
- 複数のAICS®:脳梗塞

AICS®受診前の注意点

- 検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂らないで、午前中に採血してください。
- 検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療中を含む)の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、AICS値に影響がありますので検査は受けられません。

アミノ酸を測る、今のからだを知る。
aminoindex
アミノインデックス。

技術開発:味の素株式会社
aminoindex®、AICS®は、味の素株式会社の登録商標です
SRL 201508(3)

費用　男性5種・女性6種　23,000円(税込)
申し込み方法・問い合わせ先　佐々木記念病院 健診センター
直通番号:04−2923−1673(内線 143・144)